



×



②



■2025年度、新メンバー募集
中！ あなたも、
執筆メンバーに
入りませんか？
興味がある中高生、
大学生の方はこちらまで！



おかげさまで、この活動は、5年目を迎えています。これまで、中学生から大学生までのべ30名程の学生が編集に関わってくたさり、2025年度も6名の編集学生と一緒に活動を継続しています（1名は、4月から海外留学のため活動休止、1名は海外大学進学のため、この5月号で卒業）。



今月号では、これまでの4年間を振り返って気づいたことを二つご紹介します。一つ目の気づきは、この執筆活動に参加するきっかけは次のように実に様々であるということです。①学校でSDGsのことは聞いたけれどよく分からない

いので自分で勉強しよう。②もともSDGs関連の活動をしていて活動の分野を広げよう。③SDGs関連の活動をしたけれど何をしたいかわからない。④文章を書く挑戦をしたい。⑤仏像が好き。⑥進学をきっかけに何かに挑戦したい。⑦取材等を通じて学校では学べない刺激がほしい。⑧お寺と関係のある家系だから。など。何かに挑戦を始めた学生たちに通じた条件はなさそうです。挑戦はいつでも、誰でも始められます。二つ目は、SDGs達成に向かうためのヒントは、仏教の教えにたくさんあるという気づきです。「SDGs for School × 曹洞禅」の活動は、元々は「てらスクール」





を読む学生世代に、SDGsのことを分かりやすく伝えるための編集依頼を受けたことから始まりました。ならば学生から学生に向けて記事を書くというのではないかと考えて、編集学生を公募して、有志が集まった学生たちのアイデアからすべてを始めていけるようにデザインしてきました。何のために記事を書くのか、何のためにイベントを企画するのか、編集学生どうして話し合い、年度の始めには、「SDGs for School×曹洞禅」らしいとは何かについても、過去の活動を振り返りながら話し合って5年目を迎えます。

すると、編集学生たちのアイデアから、仏教の教えや修行を体験し、そこからSDGsに関する記

事を執筆したり、イベントを企画していこうという活動も誕生してきました。とても自然な提案でした。私も、このアイデアがきっかけで、初めて仏教の教えと向き合い、坐禅などの体験もするようになりしました。すると、仏教の教えには、SDGsの達成につながるであろう生き方や考え方のヒントが多くあり、修行からは、掃除や食事など日常生活全般から、持続可能な未来への「学び」や「選択（小さな行動）」があることに気づかれました。

私は普段、学校で先生をしています。学校の「教え」は、教える内容が先に決まっていることが多いように思います。一方、仏教の「教え」は、日常の中で忘れかけ

ていた感謝や、これまで生きてきた中で自然に学んできたことを仏教の「教え」で確認したり、日常の中にある大切な学びに「気づき」を与えてくれました。「教わる」というよりは「確認する」や「自分の言葉で問い直す」という感覚です。これからの時代の教育で求められている「実社会とつながる学び」や「答えのない問いに向かう学び」の本質のようにも感じています。

「SDGs for School×曹洞禅」の生徒主体の活動から、編集学生たちと一緒に私も毎回学んでいきます。この記事を読んでくださっている学生のみならず、「SDGs for School×曹洞禅」で一緒に活動してみませんか？

(山藤)





○みのり
大学1年生

『てらスクール』で初めて原稿を書いてから、気がつけばもう3年。高校2年生だったあの頃から留学や留年を経て、先日ようやく高校を卒業しました。今年の秋からはアメリカの大学に進学する予定なので、この記事が最後の投稿になると思います。

実は、私が『SDGs for School × 曹洞禅』に参加したきっかけは、仲の良い友人に誘われたことでした。それまでは気候変動など一部の環境問題にしかあまり関心がなく、記事を書いた経験もありませんでした。だから今、最初に書いた

た記事を読み返してみると、自分の知っている知識や経験を少し混ぜただけの、浅い文章だったなと感じます。けれど、毎月原稿が届くたびに他のメンバーの記事を読む中で、「こんな解決策があるんだ」「こういう具体例を出すところ動につながるんだ」といった字びがたくさんありました。そして私も、読んだ人が何かアクションを起こしたくなるような記事を目指して、ストーリーを意識して書くようになっていきました。

『SDGs for School × 曹洞禅』は、単にSDGsについて発信する場だっただけではなく、私にとって「ことば」を環境問題や社会課題の解決のためのツールとして使うことを学べた場所でもあり

ました。思い返せば、私が気候変動に対して危機感を持ったきっかけも、グレタ・トゥーンベリさんのスピーチ——つまり「ことば」でした。ここで身につけた「誰かに行動を起こしてもらうために、自分の考えや課題をことばで伝える」というスキルは、進路を決める場面でも、実際に行動を起こしたときに仲間を集めるうえで、とても役立ったと思います。

私は今月で編集メンバーを卒業しますが、少しでもSDGsや文章を書くことに興味がある人がいたら、ぜひ『てらスクール』で「読んでもらうための文章を書く」という経験をしてみてください。最後まで読んでくださり、ありがとうございました。

